



週報

■事務局/〒706-0011 玉野市宇野1-11-1
 TEL. 0863-33-2228 FAX. 0863-33-2225
 ホームページ <http://www.tamano.or.jp/rotary>
 E-mail tamanorc@tamano.or.jp

■例会場/瀬戸大橋カントリークラブ
 〒706-0153 玉野市滝1640-1
 TEL. 0863-71-4500 FAX. 0863-71-4509

■例会日/毎週金曜日(12:30～13:30)

No.2056		
4月23日例会	プログラム 「ピンクリボン運動と乳癌検診」	三宅 一昌君
4月30日例会	定款第6条第1節により取止め	
4月23日のメニュー	幕の内弁当 (お刺身・天ぶらの盛り合せ・金平ゴボウ・酢の物・ご飯・お味噌汁・コーヒー)	

前回(4月16日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	23名	欠席者数	10名	出席率	69.70%	前回補正率	-
	前回補正者	-								
	欠 席 者	林君 東川君 井上君 岸君 岸本君 小野君 白石君 上原君 安江君 山田(次)君								

来 訪 者 三宅 定子様 (うの港13 代表)

会 長 挨拶

会員の皆様、今日は！ 例会出席本当にありがとうございます。本日は東川会長、岸本次期会長のお二人が欠席ですので、代理の代理ということで前会長の緋田が挨拶をさせていただきます。

先ず、本日のゲストの方をご紹介させていただきます。「うの港13」代表の三宅定子様です。ようこそいらっしゃいました。三宅様には後程卓話を頂きます。ご清聴ください。

さて、挨拶として経済関連のお話を致します。100年に一度と云われる「リーマン・ショック」による今回の景気後退ですが、昨年1～3月期に底を打ったと思われまふ。しかし回復力は大変鈍く、二番底の懸念が心配されています。ここは二番底回避のため、「民」の力が弱っている現在、「公」の力で押し上げて欲しいものです。そのためには、補正予算を組み、景気の底上げを図らねばと思っています。

早く景気が良くなることを祈ります。

幹 事 報 告

- RI 第2690地区第10グループガバナー補佐の喜田茂様より次年度ガバナー補佐クラブ協議会開催訪問予定日が8月27日(金)13:40～とのご案内が届いております。
- 大阪リバーサイドロータリークラブより30周年記念式典出席に対するお礼状が届いております。
- 玉野市ボーイスカウト育成会より平成22年育成会理事の選任について依頼が届いております。次年度新世代活動委員会の渡邊正俊委員長にお願いします。
- ハイライトよねやま No.122 が届いております。
- 他クラブ週報、例会変更通知は回覧させていただきます。

委 員 会 報 告

- 米山記念奨学会委員会(石川委員長):①本日の米山ランチへのご協力ありがとうございます。②4月28日(水)兵庫県佐用町のダイヤモンド佐用ソサエティで開催されますリニューアルゴルフコンペに玉野RCより6名の参加お申込みを頂き、誠にありがとうございます。

スマイル・ボックス

- 松尾君①、三宅(照)君、島田君ー三宅定子様、よくいらっしゃいました。
- 藤田君ー三宅さん、ようこそいらっしゃいました。いつも家内がお世話になっています。
- 仲田君ー三宅さん、ようこそ！ そして色々お世話になりました。
- 富永君ー①三宅定子さん、いつもお世話になります。②三宅(保)さん、花をいつもありがとうございます。
- 石川君ー①三宅定子さん、皆様、ようこそおいで下さいました。②仲田さんに初めて進水式を見せて頂きました、ありがとうございます。③米山ランチです、ご協力をお願い致します。④佐用ソサエティのリニューアルパーティーのお話をさせていただきます。
- 山田(孝)君ー①近藤さん、退院おめでとう。②大阪リバーサイドRC 記念式典に出席できませんでした。
- 松尾君②ー本日遅刻しました。

本日、皆様にはスライドをご覧頂きながら説明していきます。

宇野港は県南に位置する岡山県の重要港湾です。田井港、日比港、宇野本港の全てを宇野港と呼びます。昭和 63 年、瀬戸大橋の開通により本州と四国を結ぶ宇高連絡船が廃止され、海路から陸路へと交通体系が変わりました。しかし、宇野港から高松や小豆島、直島、豊島の島々を結ぶフェリーは海上交通の要衝として今も重要な役割を果たしています。現在は高速道路料金の大幅な引き下げにより宇高航路存廃問題で右往左往している現状です。



うの港 13 は、平成 19 年 7 月に発足され、宇野港の活性化、地域と港の特性を活かした街づくりに女性の視点から提言し、具体的な行動と運動を起こし実現していく女性会議のことで

メンバーは、大学教授、商工、企業、行政、芸術家など 13 名の女性スペシャリストで構成され、主な活動を紹介しますと、県の港湾事業の緑地整備に第一次・第二次提言をしました。その成果あって、案内板、解説板、散策道、UNO PORT 蛍光板の設置及び檜垣直右ひがきなおすけ県知事銅像の移転など次々実現しました。また観光の集客仕掛けづくりに作製した「宇野港歴史散策マップ」は平成 21 年に中国建設弘済会から敢闘賞を受賞し、男性社会の港湾事業へ女性の視点で取り組んだことが高く評価され国や県からも表彰されました。

今話題の宇高航路存廃問題については、現在フェリー 2 社による運航が減便され、改革が急ピッチで成されています。しかし地元にとっては高速道路新料金ひがきなおすけが暫定的なため油断が許されません。

私達は、今、第三次（JR 宇野駅からフェリー乗場周辺の人や車の動線確保と整備）・第四次（第二突堤の高潮対策の親水性護岸整備）提言を岡山県へ要望し、中国建設弘済会へは「歴史散策マップ」改訂版（西エリアの歴史と英語版）の申請をしたばかりです。

引き続き、宇高航路存続に向けて宇野港の活性化と玉野市の街づくりのために取り組んで参りますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。